

昭和十八年九月卒業豫定ノ者ノ大學學部等入學志願ノ取扱ニ付テハ追而通牒ノ豫定トス

乙 現在第一學年及明年四月入學セシムヘキ第一學年生徒ノ取扱

(1) 現在第一學年(四年制ノ學校ニ在リテハ第二學年及第一學年、五年制六年制ノ學校ニ在リテハ之ニ準ス)及明年四月入學セシムヘキ第一學年生徒ニ對スル修業年限ハ未定ナルモ其ノ修業年限ヲ短縮セラルル場合アルヘキヲ豫想シ右取扱ノ趣旨ニ準シ適宜措置スルヲ可トスルコト

(2) 昭和十八年度以降ニ於ケル學年ハ従前ノ通ナルモ學期ハ二學期制トシ四月乃至九月ヲ第一學期、十月乃至三月ヲ第二學期トナスヲ得ルコト

### (五) 第五十五回卒業式における学校長式辞(昭和十八年九月)

#### 第五十五回卒業式ニ於ケル學校長式辭<sup>(1)</sup>

本日茲ニ第五十五回卒業證書授與式ヲ舉行セルニ當リ聊カ所懷ノ一端ヲ述ベテ卒業生竝修了生諸子ニ告グ。今ヤ大東亞戰爭ハ眞ニ熾烈苛酷ヲ極ムル決戰段階ニ入り、日夜ヲ別タズ悽慘ナル死闘ヲ展開セラレツツアリ、我等一億國民ハ何ヲ以テカ此ノ言語ニ絶スル前線將兵ノ勞苦ニ報イントスルカ。

須ラク眞ニ一大決意ノ下、愈々戦力増強ニ邁進シ銃後國民鐵石ノ決意ト努力ハ直チニ前線勇士ノ闘魂トナリ以テ敵米英ノ撃滅ヲ將來スルノ一途アルノミ。諸子ノ先輩同輩モ曩ニ名譽ノ戦病死ヲ遂ゲラレタルアリ、又現ニ第一戰ニ赫々タル武勳ヲ建テラレツ、アルアリ、又近クハ自ら志願シテ所謂學驚トシテ陸海軍ニ入り光榮アル將

來ヲ約束セルモノアリ。諸子亦コレ等幾多ノ先輩同輩ノ心ヲ心トシ直ニソノ後ニ續カンノミ。而モ這次ノ大戰ハ單ナル武力戦ニ非ズ、同時ニ生産戦タリ科學戦タリ、更ニ謀略戦タリ、思想戦タリ。是即所謂國家總力戦タル所以ニシテソノ一ヲモ缺クコトヲ得ズ。況ンヤ大東亞戰爭ハ單ナル破壊戦ニ非ズシテ一大建設戦ナリ。聖戦ノ目的亦實ニ茲ニ存ス。即チ東亞ヲ敵米英ノ桎梏ヨリ解放スルニ止マラズ更ニ積極的ニ東亞新秩序ヲ具現セントスルモノナリ。茲ニコソ道義國家トシテノ盟主日本ノ歴史的使命存ス、而シテコレガ使命達成ニ遺憾ナカラシメンガ爲メニハ武力戦生産戦ニ於テノミナラズ更ニ思想文化戦ニ於テモ斷ジテ勝チ拔カザルベカラズ。宜シク高遠ナル肇國精神ニ廻リ之ニ淵源セル逞シキ精神力、生命力ヲ最高度ニ發現シ、以テ東亞十億ノ民ヲ米英依存ノ惡夢ヨリ救ヒ眞ニ盟主日本ニ信服追從セシメザルベカラズ。諸子ヨ深ク思ヒヲ茲ニ致シ諸子ノ荷ヘル文化的使命ノ重大ナルヲ銘記セヨ。

而シテ音樂コソハ國家總力戦ノ重要部門タル文化面ノ花形タリ、急先鋒タリ、東亞新秩序ノ指導宜シキヲ得ルモ將又東亞ノ天地ニ獨自ノ世界文化ヲ建設スル上ニ直接甚大ナル感化影響ヲ及ボス點ニ於テモ音樂ニ如クモノナシ。今コソ眞ニ二千年來ノ傳統ヲ誇ル日本文化ヲ東亞ノ全領域ニ光被センガタメ速カニ國樂ヲ創成シ具現發展セシメ以テ日本文化ヲ中軸トセル世界東亞文化建設ノ推進力トシテ卒先實踐垂範スベキノ秋ナリ。諸子宜シク國家總力戦ノ眞意ヲ深く理解シ國家ノ要請スル文化的使命ニ即應センコトヲ希望シテ止マズ。

諸子ヨ「御民我生ケル驗アリ」ノ信念ニ徹シ學窓ヲ出デテハ愈々聖代ニ生ヲ享ケタルコトヲ無上ノ光榮ト感ジ日本人タル榮譽ヲ深く

思ヒ高キ誇リト不<sub>レ</sub>退轉ノ覺悟ノ下一死君國ニ奉ジ以テ皇恩ノ萬分ノ  
一二報イ奉ランコトヲ期セヨ。一言以テ式辭トナス。

昭和十八年九月二十五日

東京音樂學校校長從三位勳二等 乘 杉 嘉 壽

〔同聲會報〕第二六五号 昭和十八年九月卷頭

(1) 「學校長式辭案」と題する手書きの原文が「祝辭弔祭文案」に綴じられ  
てゐる。

(六) 金屬類非常回収 (昭和十八年十月)

昭和十八年十月二日起案

國有財産 (工作物) 中取毀ノ件伺

國有財産工作物中左記ノ通取毀相成可然哉

記

所在地	種目	名稱	數量	價 格	備 考
東京都下谷區上野 公園元西軒寺跡	暖房裝置	蒸汽暖房	一個	三九、八四九圓	金屬類非常回収ノタ メ取毀 (本校)
東京都神田區駿河 台二丁目九番地	同	同	一〃	六、五五八	同 (分教場)
東京都牛込區市ヶ 谷加賀町一丁目十 四番地	圍 障 柵		一二間	一七〇〇〇	自然腐朽ノタメ取毀 (備外國人教師官舎)
計				四六、四二四七〇〇	

本校 十月二十日 回收完了

分教場 十月二十五日 〃

官 舎 昭和十九年三月三十日取毀

(手書き) (國有財産増減報告・同計算書)

(七) 學校長による壮行の辞 (昭和十八年十一月)

壮行ノ辭

本日茲ニ假卒業證書授與式並出陣學徒壯行式舉行セラル、ニ當  
リ、一言述ベテ以テ出陣學徒ヘノ餞トセントス。

今正ニ帝國ノ存亡興廢ノ岐ル、所、一億同胞一齊ニ戰鬪配置ニ就  
ケルノ秋、學徒ニ總出陣ノ救命下ル。洵ニ學徒無上ノ光榮ニシテ曠  
古ノ壯觀ト謂フベシ。諸子ノ生ヲ皇國ニ享ケタルハ悠久三千年ノ光  
輝アル歴史ヲ擔ヒ、永遠ニ彌榮エ行ク我國體ノ精華ヲ遍ク世界ニ顯  
揚センガ爲ニ他ナラズ。天地ノ正氣コ、ニ鍾マリテ將ニ燦然タル光  
ヲ放タントス。既ニ八紘爲宇ノ大理想ノ下、大東亞ノ解放建設ノ巨  
歩ハ踏出サレタリ。嗚呼旺ナルカナ、諸子ノ決意愈新タニ、元ヨリ  
明日ノ生命アルヲ頼マズ、只々皇國永遠ノ繁榮ノ爲自ラソノ礎石タ  
ランコトヲ希フ。コノ時ニ當リ敵米英又總反攻ヲ呼號シ、戰局愈凄  
愴奇烈ヲ極ム。鬼畜米英ノ擊滅ナクシテ何ノ東亞ノ建設ゾ。諸子ノ  
背後ニハ嚴然トシテ我等一億國民アリ、更ニ大東亞十億ノ同胞ア  
リ、我等亦必ズ諸子ノ後ニ續カンノミ。

諸子今ヤ大東亞ノ天地ニ肇國ノ大精神ヲ光被セントシテ勇躍千載  
一遇ノ壯途ニ上ラントス。洵ニ感激措ク能ハザル所、只管諸子ノ武  
運長久ヲ衷心ヨリ祈念シテ止マズ。諸子ヨ、サラバ征ケ。一言以テ  
壯行ノ辭トナス。

昭和十八年十一月十五日

東京音樂學校校長從三位勳二等 乘 杉 嘉 壽

(手書き) (祝辭弔祭文案)